

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 01 都市型農業の推進

主管課 農業振興課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<p>【担い手の育成・確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金制度の開始 <p>【生産性の高い農業経営の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸別所得補償制度の実施 (H23～) ・人・農地プランの策定 (H24) ・農地集積協力金制度の開始 (H24) ・経営体育成支援事業の実施 (H25～) <p>【潤いと活力に満ちた農村の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・水・環境保全向上対策 (H19～) <p>【農畜産物の付加価値化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安価な輸入農畜産物の増加 <p>【環境と調和した農業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料、農薬の使用等により環境に負荷がかかっている。 <p>【地産地消と消費者との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域等で食育、地産地消の取組が進められてきた。 	<p>【担い手の育成・確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者の高齢化。 ・後継者や新たな担い手の育成・確保が必要。 <p>【生産性の高い農業経営の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産効率向上のため、農地の集約が必要。 ・販売価格が生産費を下回る作物を生産している農業者への経営支援が必要。 ・持続可能な地域農業の実現のため、地域の中心となる経営体への経営支援が必要。 <p>【潤いと活力に満ちた農村の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・水・環境保全向上対策の推進が必要。 <p>【農畜産物の付加価値化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した産地となるにはブランド化支援等が必要。 <p>【環境と調和した農業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境と調和した農業を進めるため支援が必要。 <p>【地産地消と消費者との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康をめざすため及び消費者のニーズにこたえるため、より一層の連携が必要。

施策の目的

担い手を育成確保し新たな技術や経営方法を積極的に取り入れるなど、従来の農業生産のあり方を見直し改善することによって、農業産出額の維持・向上を図ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生産額が向上する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
農業産出額	百万円	6,140	-	-	-	6,200
J A道央販売実績 (参考)	百万円	3,887	3,849	4,157	4,521	↗

施策の達成状況 (24年度)

担い手の育成確保に努めるとともに、都市型農業の特徴を活かした収益性の高い集約型農業を推進し、農家所得の安定を図っていきます。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	514,100	352,867	496,592
事業費(千円)	392,105	229,416	372,527
人件費(千円)	121,995	123,451	124,065

01 担い手の育成 確保

基本事業の目的

新規農業参入者や農業法人を補助・育成したり、情報化や高度技術化に対応する人材を確保することにより、世襲以外にも農業に取り組む人を確保し、継続できる農業経営にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業者、後継者及び新規参入者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・継続できる農業経営にする
- ・就農者の確保をする

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
農家戸数	戸	550	483	473	449	550
新規就農者数 【初期値(H19) 前期4年間 14人(累計)】	人(累計)	-	5(14)	9(23)	7(30)	20
農業生産法人数	団体	34	44	45	44	40

基本事業の達成状況 (24年度)

農家戸数、農業者数は減少していますが、担い手への農地の集積は進んでいます。農業生産法人数は漸増しており、事務事業の成果については、ほぼ順調に推移していると考えます。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,086	5,632	14,548
事業費(千円)	283	3,227	12,534
人件費(千円)	803	2,405	2,014

02 生産性の高い農業経営の確立

基本事業の目的

農地の流動化による経営規模拡大や、花き・野菜など小規模な面積でも収益性のある集約型農業を推進するとともに、地力や圃場条件を整え生産性を向上し所得の安定を図ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生産性を向上し、所得の安定を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
一戸当たり生産農業所得	千円	6,130	-	-	-	6,200
J A道央組合員一戸当たりの販売実績(参考)	千円	5,414	5,711	6,366	7,165	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

都市型農業の特徴を活かした収益性の高い集約型農業を推進し、農家所得の安定を図っていきます。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	270,470	139,293	265,488
事業費(千円)	230,340	98,812	225,611
人件費(千円)	40,130	40,481	39,877

03 潤いと活力に満ちた農村の実現

基本事業の目的

農業地域の道路を整備したり水洗化や景観保全を進めることによって、衛生面等で生活環境の向上を図り快適な生活が送れるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業地区住民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生活環境（衛生等）の向上を図り快適な生活できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
農業地区が衛生的で、快適な生活環境だと感じる地区住民の割合	%	83.9	-	89.7	85.1	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

市民アンケート調査において、農村地域が衛生的で快適な生活環境だと感じる地域住民は増加傾向であり、農村地域の衛生面等での生活環境は向上しつつあるといえます。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	125,449	122,815	121,979
事業費(千円)	102,977	101,572	100,631
人件費(千円)	22,472	21,243	21,348

04 農畜産物の付加価値化

基本事業の目的

江別産農畜産物のブランド化やイメージアップを図り、高品質で付加価値の高い商品にすることで新たな需要の拡大や市場での競争力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

江別産農畜産物

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市場価値が高く、ブランド化される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
市場で付加価値の高い農産物の作付面積	ha	1,090	1,242	1,118	1,041	1,100
市場で付加価値の高い畜産物の飼養頭数	頭	614	663	842	828	630

基本事業の達成状況 (24年度)

市場で付加価値の高い農産物の内、江別が一大産地となっている小麦のハルユタカについては、その優れた品質から需要が多く、全国から求められるブランドとなっています。えぞ但馬牛については、飼養する生産者団体が農協の畜産生産部会だったものが、和牛生産改良組合として認定を受け、和牛産地として地位向上が図られています。また近年は、労働集約型作物としてブロッコリーの販売額が伸びてきています。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	7,912	9,017	9,209
事業費(千円)	688	600	750
人件費(千円)	7,224	8,417	8,459

基本事業の目的

健康・安全志向などの消費者ニーズに対応し、有機・減農薬での生産や堆肥を使った地球にやさしい農業を行うことで、自然と共生した環境保全型農業を推進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・有機減農薬での生産拡大する。
- ・堆肥などによる土づくりにより環境にやさしい土地をつくる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
エコファーマー認定戸数	戸	19	152	271	274	50

基本事業の達成状況 (24年度)

土づくり・減化学肥料・減化学農薬の3つの技術に取り組むエコファーマー(知事認定)の認定を受けたり、環境保全のため緑肥すき込みを行う生産者が増えてきており、消費者の安全志向に対応した環境保全型農業の推進が図られています。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,626	2,627	403
事業費(千円)	1,218	222	0
人件費(千円)	2,408	2,405	403

基本事業の目的

農業体験やイベント・産地直売所での消費者との交流を通じて、消費者に地元農産物について、より身近に感じてもらいます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、農業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- 農業体験をする。
- 地元農産物活用、購入をする。
- イベントへの参画をする。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
農産物の購入にあたって、地元農産物を積極的に購入する人の割合	%	25.7	-	24.5	25.8	↗
イベントや直売所で地元農産物を購入したことがある市民割合	%	51.4	-	54.4	55.8	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

地元農産物を積極的に購入する人の割合が改善され、地元農産物を購入したことがある市民割合は伸びており、イベントやPRの効果が表れています。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	11,319	12,469	13,206
事業費(千円)	1,687	1,647	2,734
人件費(千円)	9,632	10,822	10,472